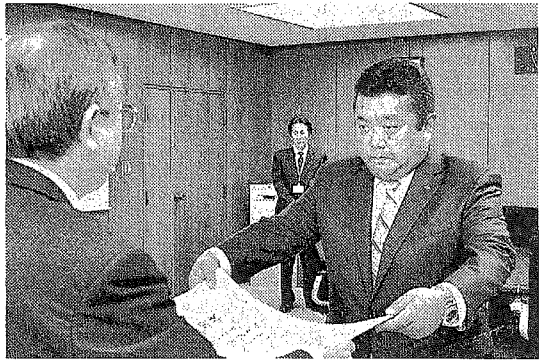


宮坂建設工業に感謝状

開発局 広島土砂災害被災地支援で



岡部局長から感謝状を受け取る宮坂社長（右）

北海道開発局は30日、2014年8月に広島市内で発生した土砂災害の被災地で炊き出しに励んだ宮坂建設工業（本社・帯広）に感謝状を贈呈した。

同社は、大雨による土砂災害に見舞われた広島市北部の被災地へ、芽室町農協と十勝清水町農協から提供を受けたジャガイモ2万個とトウモロコシ4015本、バター13・5kgをフェリーで輸送。宮坂寿文社長を含む社員16人が現地に入り、8月29―31日に4カ所の避難所で、塩ゆでしたジャガイモとトウモロコシを約1000人に振る舞

った。

開発局は、避難した地域住民の生活支援に大きく貢献したとして感謝状贈呈を決めた。

この日、札幌第一合同庁舎で岡部和憲局長から感謝状を受け取った宮坂社長は「毎年、帯広で実施している防災訓練が功を奏し、被災地への支援が迅速にできた」と振り返り、「何より被災された方々の役に立ててうれ

しい」と話した。

宮坂建設工業へ感謝状

開発局―多大な貢献に謝意

開発局の岡部和憲局長は三十日、昨年広島県広島市で発生した土砂災害により被災した人々に対する炊き出し支援活動を行った宮坂建設工業（帯広、宮坂寿

文社長）に対し、感謝状を贈呈した。札幌第一合同庁舎の開発局長室で行われた贈呈式では、岡部局長が宮坂社長に対し、感謝状を授与し写真。被災地に対する多大な貢献に謝意を示すとともに、今後のさらなる



加、宮坂建設工業からは宮坂社長が出席。岡部局長が宮坂社長に対し、感謝状を贈呈した。

贈呈後、岡部局長は、近年自然災害が多発していることに加え、「避難生

活躍に期待を寄せた。

宮坂建設工業は、昨年八月に広島市北部で発生した土砂災害で被災した人々を支援しようと、トウモロコシ四千十五本、ジャガイモ二万個を用意し、炊き出し支援を展開。宮坂社長を筆頭に社員十六人が、現地に赴き、支援活動を行った。感謝状の贈呈には、開発局から岡部局長をはじめ高橋公浩事業振興部長らが参加。感謝状を受け取った宮坂社長は、被災地の活動を振り返った上で、日ごろからの防災訓練により、迅速に活動を展開できたことを紹介。「支援活動を展開した地域の方々は、炊き出しを本心に喜んでいただ

き、今後も精力的に活動を展開していくことに意欲を示していた。